

平成 22 年 9 月 補正予算要求事業調査

1 予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)			区分	
37	上水道施設整備事業			新規	拡大 <b>継続</b>
会計区分	款	項	目	所管	
水道事業会計	1	1	1	水道局 給水部 水道計画課	
事務事業の位置付け					
しあわせ倍増プラン2009		番号	事業名		
総合振興計画新実施計画		事業コード	6301	事業名	上水道施設整備事業
根拠法令・条例・規則等					
予算要求事業の概要					
内容	<p>主な事業として、「地下水源整備事業」、「拠点施設整備事業」、「配水ブロック整備事業」、「配水支管整備事業」、「老朽管更新事業」、「耐震化事業」の6つの事業を柱とし、維持管理時代に対応した改良・更新・耐震化を、効率的かつ効果的に行っています。</p>				
目的・目標	<p>&lt;目的&gt; 水道事業長期構想の目標と施策の実現に向けて、中期経営計画と調整を図り策定した水道整備計画に基づき、平成18年度から平成22年度までの5か年を第一次施設整備事業とし、水道施設整備に係る施策を、総合的かつ計画的に進めていくことを目的としています。</p> <p>&lt;目標(平成22年度末)&gt; 平成18年度から平成22年度 1 地下水源整備事業：深井戸改良・更新 12か所 2 配水ブロック整備事業：配水幹線整備 7,796m 3 老朽管更新事業：水道管布設替工事 140,252m</p>				
現状と課題	<p>&lt;現状(平成22年度未見込み)&gt; 1 地下水源整備事業：深井戸改良・更新 12か所 2 配水ブロック整備事業：配水幹線整備 7,987m(平成21年度繰越分を含む。) 3 老朽管更新事業：水道管布設替工事 140,997m(平成21年度繰越分を含む。)</p> <p>&lt;課題&gt; 1 地下水源整備事業：老朽化した深井戸の改良・更新 2 配水ブロック整備事業：配水ブロックの構築に向けた幹線整備 3 老朽管更新事業：計画的な老朽管の更新</p>				
今後のスケジュール	<p>・平成22年度 1 地下水源整備事業：深井戸改良・更新 12か所 2 配水ブロック整備事業：配水幹線整備 7,987m 3 老朽管更新事業：水道管布設替工事 140,997m + 補正予算分の水道管布設替延長</p>				

2 補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	今後、耐用年数を超える老朽管が増加するため、更なる老朽管更新事業の推進が必要となってきている現状から、地域活性化・公共投資臨時交付金充当事業として、次年度実施予定工事の一部を前倒し実施することとなった。
	実施義務	根拠法令等 さいたま市水道事業長期構想 他市の 実施状況 殆どの水道事業体で実施
効果	対象者 効果	給水需要者 赤水や漏水を未然に防止し水の有効利用を図るとともに、災害に強く、かつ、安定した給水の確保ができます。

3 補正前予算額、補正予算要求、査定の内容 (単位：千円)

	金額	備考
平成22年度	<b>補正前予算額</b> 7,761,669	<積算内訳> 1 地下水源整備事業 233,982 2 拠点施設整備事業 1,182,159 3 配水ブロック整備事業 379,347 4 配水支管整備事業 1,314,087 5 老朽管更新事業 4,289,679 6 耐震化事業 362,415
	財源内訳 国庫支出金 81,000 企業債 1,181,000 自己財源 6,499,669	
9月補正予算	<b>補正予算要求</b> 75,000	<積算内訳> 1 老朽管更新事業
	財源内訳 他会計補助金 51,000 自己財源 24,000	・他会計補助金(地域活性化・公共投資臨時交付金基金繰入金)
9月補正予算	<b>水道事業管理者査定</b> 75,000	<査定内容> 1 老朽管更新事業
	財源内訳 他会計補助金 51,000 自己財源 24,000	・他会計補助金(地域活性化・公共投資臨時交付金基金繰入金)
<査定理由> 経済対策として、早期発注・早期実施する必要があると判断し、9月補正予算に計上することとしました。		
<b>市長査定</b>	75,000	<査定内容> 1 老朽管更新事業
財源内訳 他会計補助金 51,000 自己財源 24,000		・他会計補助金(地域活性化・公共投資臨時交付金基金繰入金)
<査定理由> 水道事業管理者査定の内容及び理由について、適正と認められるため、水道局原案のとおりとしました。		